

G8・BMENA「未来のためのフォーラム」第9回閣僚級会合 最終宣言文概要

- 昨年度の第8回閣僚級会合以降、エジプト、リビア、チュニジアなどで民主的に新政権が誕生したことを歓迎する一方で、シリアに対しては直ちに暴力を停止すること、イランに対しては国際的義務を果たすことを求める。
- 政府、市民社会、民間セクターが地域の課題解決に向けて協力する必要がある、BMENA構想における政府・市民社会の対話はこれまでになく重要になっている。
- かかる重要性に鑑み、市民が表現し、平和的に結集する権利を尊重するとともに、政府と市民の対話メカニズムの構築を支援することに同意する。また、万人共通の人権と自由のための法整備の重要性について確認する。「未来のフォーラム」における取り組みが、国家レベル、国際レベルにで反映されることを求める。
- 暴力を拒否し、信条、人種、性別等により差別されないよう人々を保護する法の重要性を確認する。世界各地で発生している人種的、宗教的不寛容性、差別、暴力等に対する懸念を表明する。言論に対する暴力は受け入れられず、思想と表現の自由が寛容性の促進にもたらす重要な役割を認識する。
- 移行期にある国における女性の役割の重要性を認識する。BMENAの長期的目的である政治、社会、経済における女性のエンパワーメントと男女平等推進に一定の進展があったことを強調する。他方で、女性への暴力や差別、強制的な婚姻など、様々な課題においてさらなる取組が必要である。国際レベルでのコミットメントが国レベルの法整備に組み込まれることが重要である。
- 雇用機会の拡大、雇用創出、民間主導の経済成長が喫緊に必要であることに同意する。民間セクター、市民団体、国際機関との連携により、官民連携(PPP)や起業を促す環境の構築など国主導の改革努力が重要である。政府は政策決定の透明化や法整備等を進める必要がある。事業にかかる事務手続きの簡素化や中小企業支援などの取り組みを歓迎する。
- ドゥービルパートナーシップ(DP)下における中小企業支援などの取組を歓迎する。個別の取り組みであるBMENAとDPが相乗効果と相互補完性を発揮し、G8諸国が地域における継続的な改革を支援することの重要性を強調する。
- あらゆるレベルでの優先課題として腐敗防止に取り組むことを確認し、効率的な資産回復のために協力していくことを求める。今年9月にドーハで開催された資産回復にかかるアラブ・フォーラムおよびDPIにおける資産回復アクションプランを歓迎する。
- パレスチナの国連におけるオブザーバー国家ステータスにかかる国連総会決議(67/19)に注目するとともに、パレスチナ人の悲願を理解し、アラブ和平イニシアティブ、ロードマップ、マドリッド宣言、国連決議、2011年9月のカルテット声明に基づく交渉による二国家解決を支援する。

- フォーラムで各国より発表された経済ガバナンス、女性のエンパワーメント、表現と集会の自由にかかる新たなイニシアティブ、様々な取り組みおよび支援を歓迎する。かかる取組への支援においてはパリ宣言を遵守する。
- 本会合を主催したチュニジア政府とチュニジアの人々の暖かな歓迎に感謝するとともに、英国およびエジプトの共同主催による来年の会合への支援を表明する。